

## &lt;2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿&gt;

非食用米等の植物性廃棄物をアップサイクルし、製品の製造・利用・処分時に発生する二酸化炭素の排出抑制を通じ、脱炭素化、フードロス問題対策に貢献する。当社グループ会社が生産する製品を通じ、ユーザーのSDGs活動への参加を促進させる。

## &lt;SDGsに関する重点的な取組み及び指標&gt;

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	食品ロスの削減	項目	非食用米等活用数量
		現状(2025年)	更新時(3年後)
		87.9t	200t
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	県内に水田のある景観づくりと、ビジネスマッチング	項目	原料作付け用水田の確保
		現状(2025年)	更新時(3年後)
		1件	3件
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	九州管内における製品採用パートナーの広域展開	項目	製品採用件数
		現状(2025年)	更新時(3年後)
		30件	100件

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。  
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**前期と同じ取組みの場合は、現状の数値と下記の前期実績が一致しているかをご確認ください。**

## &lt;パートナーシップ&gt;

弊社製品のサプライチェーンを域内(主に九州)完結させることにより、LCA(ライフサイクルアセスメント)における削減効果を最大化させる為、これからの脱プラ事業のローカルモデル構築を目指すとともに、従業員が仕事に誇りを持てる組織づくり、体制づくりを図る。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

## &lt;SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況&gt;

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	食品ロスの削減	非食用米活用数量 2022年300t→2025年800t
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、 <b>未達成の場合理由記載</b> )	前期の指標に対する実績
	新たなグレードの開発と、非食用米以外での植物残渣でのOEM案件の請負が増えたため、既存原料の生産数が減少し、実質的に非食用米活用数量が目減りしたことにより未達成となりました。	2025年87.9t
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	県内に水田のある景観づくりと、ビジネスマッチ	原料作付け用水田の確保件数 2022年0件→2025年3件
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、 <b>未達成の場合理由記載</b> )	前期の指標に対する実績
	昨今の米騒動により、弊社原料作付けより食用米として水田を活用される農家の方が増え、水田の確保に至らず未達成となりました。	2025年1件
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	県内における製品採用パートナーの広域展開	ライスレジン製品採用件数 2022年3件→2025年80件
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、 <b>未達成の場合理由記載</b> )	前期の指標に対する実績
	営業の成果不足の為未達成となりました。	2025年30件

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、前期の重点的な取組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。